

20053

夜間緊急カテーテル室入室までの迅速な対応について

当院は24時間救急体制を取っており循環器疾患の治療を行っている。平成24年度のカテーテル件数は1078件であり、うち39件が夜間緊急カテーテルを行っている。当院は夜間帯医師1名看護師3名で対応している。看護師は3人で病棟患者や救急外来、カテーテル室を担当する。夜間緊急カテーテルは医師1名看護師1名放射線技師1名の計3名で行っている。限られた人数で連携し、迅速な緊急カテーテルの対応について振り返り、今後の課題が見えてきたので報告する。[方法]1CCU内に救急外来あり、カテーテル室が併設している為、処置終了時にカテーテル室に入室できる。2照射装置の立ち上げ方を夜勤スタッフ皆が知っている。3前処置内容を皆が知っている。4必要書類が一まとめになっている。5直ぐに緊急カテーテルができるように必要物品が用意されている。[結果]当院では緊急カテーテルが必要と判断された場合、来院から15分～30分位にカテーテル室に入室できるよう対応している。各看護師が役割を把握し無駄のない動きをすることによりカテーテル室入室までの時間が短縮できる。[まとめ]当院はCCU内にカテーテル室が併設されており、扉ひとつ介して病棟看護師がサポートできるという利点がある。関わるスタッフが多ければ良いというわけではなく、少ない人数でも1人1人の役割を理解し意識を高く持ち、冷静に行動できてこそ円滑に治療が進むのだと考える。今後、カテーテル室看護の質の向上を図ると同時に、新人でも迅速な対応が出来るよう努めたいと思う。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号